多摩川緊急治水対策プロジェクト

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

【令和６年度版】

○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、
「多摩川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】　②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けた更なる取組の推進　【ソフト施策】

○令和６年度は河道掘削と堤防整備及び堰改築を継続するとともに、多機関連携型タイムラインの運用を実施しています。

■河川における対策

全体事業費　約２５５億円※
災害復旧　約　２８億円
改良復旧　約２２７億円
事業期間　令和元年度～令和７年度
目　　標　令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容　河道掘削、樹木伐採、堰改築、堤防整備　等

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。
※土砂運搬等の進捗により、必要に応じて他事業と連携して事業を実施

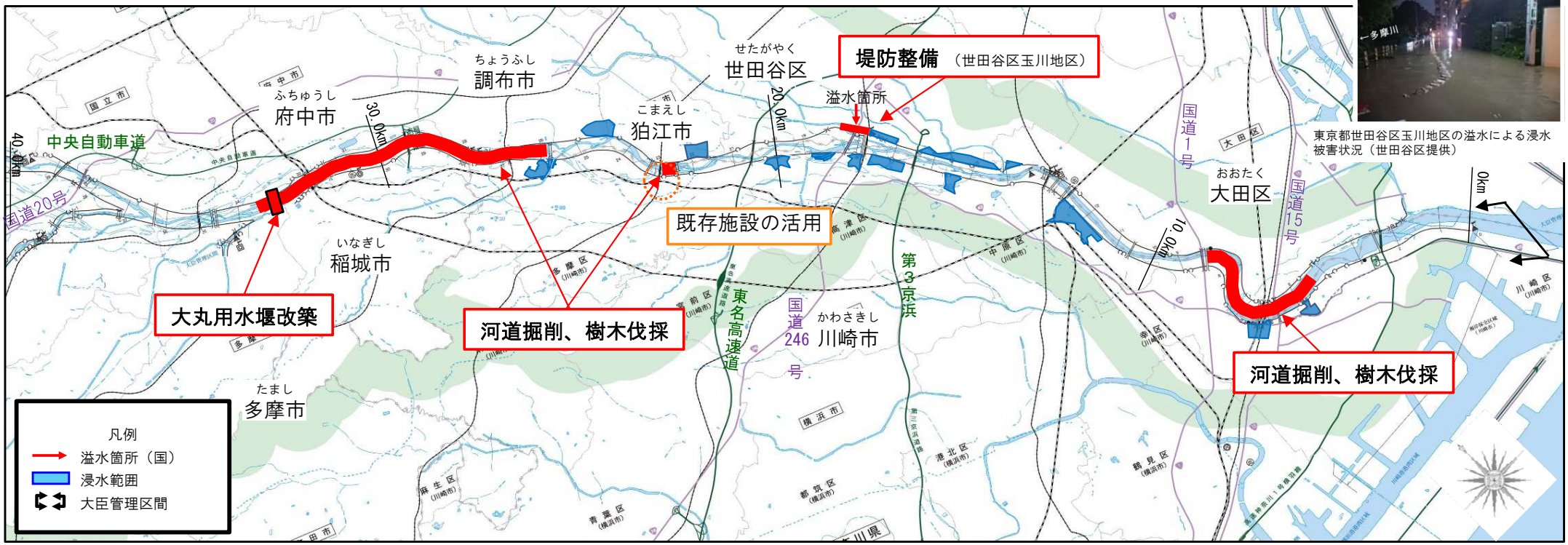
■流域における対策

（下水道事業等の整備促進）
- 流出抑制施設の整備等
- 既存施設（五反田川放水路）の活用による雨水貯留
- 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化等
- 移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備
- 土のう等の備蓄資材の配備等

■ソフト施策

- 自治体との光ケーブル接続
- 簡易型河川監視カメラの設置
- 多機関連携型タイムラインの策定、運用
- 講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- 自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施　等

東京都世田谷区玉川地区の溢水による浸水被害状況（世田谷区提供）



※計数及び対策については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある